

令和4年12月6日午後6時より、御本殿の屋根修繕工事のため、稲荷大神様に御本殿より仮殿へお遷りいただき「仮殿遷座祭」を斎行いたしました。

時刻、木綿襷を掛けた斎主以下祭員は参進、修祓の後、斎主は御本殿にて大神様に仮殿へお遷り願う祝詞を奏上いたしました。出御にあたっては陰燈のほか全ての明かりを消した浄闇の中、絹垣で御霊代を囲い、雅楽の演奏と警蹕の声と共に仮殿へと布単の上を進み、入御なさいました。その後、仮殿の大前に神饌を献じ、祝詞を奏上いたしました。引き続き金幣神事、玉串奉奠、撤饌を滞りなく奉仕し、仮殿遷座祭を終えました。



令和7年までを予定しております「重要文化財笠間稲荷神社本殿保存修理工事」はこれより本格的に開始となり、御本殿周囲に仮設足場が組まれる等順次進められてまいります。

工事終了まで大神様は仮殿に御鎮まりになられ、各祭典、御祈禱は仮殿前にてご奉仕申し上げます。

ご崇敬者の皆様にはご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

